



北辰の光 12月

校訓 「志あり 目覚めありて 行え」

教育目標 「目標を自ら学び、心豊かで、たくましい生徒の育成」

美しいものを美しいと感ずる感性を育む

* 令和4年度 花いっぱいコンクール in 白山市 中学校の部 最優秀賞

* 第58回 石川県花いっぱいコンクール 中学校の部 優秀賞

心豊かな生活環境づくりを推進する運動の一環として、石川県民、白山市民の手づくりによる「花いっぱいコンクール」が実施されました。その審査が、9月13日に行われ、北辰フラワーガーデンが、花壇全体の迫力やまとまり、適切な除草や施肥、草花の植え付け本数、色鮮やかさ等が評価され、優秀賞に選ばれました。11月20日(日)、石川県庁で行われた「花いっぱいのつどい」では、科学部3年 川浪清悟さんが本校の花壇の取組を紹介しました。

今年度、生徒と教職員、保護者の連携によって土づくりから植え込み、施肥、除草、水やりなどの作業を行う花いっぱい運動を展開しました。生徒たちが、日常的な枯花取りや除草活動にも協力し、枯れたり折れたりした場合、出来得る限り補植することで、美しい花壇となりました。北辰中学校は、地域社会の人たちの散歩ルートでもあり、その鑑賞にも資することができました。

また、PTA活動の一環として、夏期休業中の早朝6時30分からの水遣りや除草活動をしていただきました。運動会前の9月11日(日)、全校生徒並びに保護者・教職員による愛校活動として、校地内美化活動を行った結果、審査当日は、ジニアやサルビア、ポーチュラカ等の花たちが咲き誇っていました。

12月3日(土)には、野球部、科学部の皆さんが「世界一の花壇にしたい!」という意気込みと思いやりの心をもって保護者の方と協力をし、花壇の土を耕し、パンジー、ビオラの花の苗とチューリップの球根を植えました。コロナ禍で、人と身体的距離をとることが求められ、人間関係が希薄化してきていると言われていいます。そのような中、楽しく生徒と保護者、教職員が協力して素敵な花壇をつくることができ、笑顔で作業をする姿が見られました。綺麗な花壇を愛でながら登校する生徒の様子が目に浮かびます。

同時期に定植した花々が咲き誇る花壇。同じように植えたつもりでもそれぞれの主張が見えます。人も同じです。個々の成長があり、また花を見て「きれいだね」と笑顔がほころぶ瞬間が、きっと心の栄養となっていることでしょう。お世話していただいた沢山の方々に感謝いたします。

ホームページに花壇づくりの取組が紹介されていますので、ご覧下さい。

校長 才鴈浩子



花屋のじいさん
金子 みすゞ

花屋のじいさん
お花は町でみな売れた。

花屋のじいさん
さびしいな、
育てたお花がみな売れた。

花屋のじいさん
日がくれりや、
ぼっつり一人でこやのなか。

花屋のじいさん
ゆめにみる、
売ったお花のしあわせを。

文化発表会の様子



北辰フラワーガーデン

